

令和4年度災害ボランティア稼働（県社協把握分）

【8月新潟県】8月3日からの大雨による被害により新潟県村上市と、関川村へ。
長野県社協から発電機、高圧洗浄機など機材を運び、現地調査。12日間応援に行く。

隣県からボランティアを募ったことから、ボラバスを利用して292人が活動した。
(共同募金会・赤い羽根のボラサポ助成) 3団体

・飯綱町社協 15名 ・上伊那ブロック社協 23名 ・長野県社協 20名

(長野県助成：大規模災害ボランティア活動応援事業) 5社協6団体

	日数	数
・池田町社協	2日	12名
・長野市社協	1日	17名
・中野市社協	2日	18名
・上田市社協	1日	20名
・安曇野市社協	1日	8名
・日本笑顔プロジェクト（代表：小布施町）	16日	104名
・チームながでん（長野市）	1日	19名
・市災害ボランティア委員会（長野市）	5日	20名
・チーム小林（中野市）	1日	5名
・飯田市連合青年団（飯田市）	1日	6名
・Hundred hands（長野市）	1日	5名



日本笑顔プロジェクト
春原副代表
重機講習を重ね、人材を育成してきた。長期で支援に入って、現場で経験する人が増えた。活動が間違っていないと感じられた。

【9月台風14号・15号静岡県での活動】

県内の社協職員（DSAT）3人ずつ5日間×5クールで応援派遣。社協の関東ブロック支援P 山崎主査 17日間派遣。他県の職員と災害ボラセン運営支援。

隣県からのボランティアを募ることはなかったが、技術系ボランティアが自主的に駆け付けている。

(共募のボラサポ助成を活用した団体)

・一般社団法人 愛と感謝（静岡県静岡市で活動）



信州ひとまる

(大規模災害ボランティア活動応援事業を活用して)

・日本笑顔プロジェクト（代表：小布施町）	21日	83名
・信州ひとまる（代表：上田市）	3日	15名